

会 議 録

会議の名称	第1回清須市総合計画審議会
開催日時	令和5年9月29日（金） 午後2時30分から午後4時45分まで
開催場所	清須市役所南館3階 大会議室
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 市長あいさつ 3 委員紹介 4 会長選出 5 会長あいさつ 6 諮問 7 副会長選任 8 清須市総合計画審議会の公開等について 9 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 清須市第3次総合計画の策定方針について (2) 清須市第3次総合計画の策定のながれについて (3) 市民満足度調査（第8回）の実施について (4) 市民参画会議の開催について (5) 基本構想骨子の検討について 10 閉会
会議資料	<p>会議次第、委員名簿、配席図</p> <p>〔会議資料〕</p> <p>資料1 清須市総合計画審議会設置条例・清須市総合計画審議会の公開等（案）</p> <p>資料2 清須市第3次計画の策定方針（案）</p> <p>資料3 清須市第3次総合計画の策定のながれ（案）</p> <p>資料4 市民満足度調査（第8回）の実施について</p> <p>資料5 市民参画会議の開催について</p> <p>資料6 基本構想の骨子（案）</p>
公開・非公開の別（非公開の場合はその理由）	公開
傍聴人の数（公開した場合）	0人
出席委員	後藤（小）委員、水野委員、後藤（鈴）委員、鎌田委員、後藤（隆）委員、時田委員、堀田委員、佐藤委員、後藤（悦）委員、渡辺委員、野田委員（会長）、水谷委員（副会長）、山田委員、齋藤委員、伊藤委員、原委員
欠席委員	前田委員
出席者（市）	永田市長、葛谷副市長、天竺教育長、河口企画部長

事務局	〔企画部企画政策課〕 林課長、杉原課長補佐、神野課長補佐兼企画政策係長、 秋山副主幹、岩田主査 〔株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所 東海支社〕 江口支社長補佐
会議録署名委員	後藤（小）委員、水野委員
<p>1 開会 （林企画政策課長） 定刻となりましたので、ただいまから、第1回清須市総合計画審議会を開催します。</p> <p>本日は、大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。私は、企画政策課長の林と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに、審議会の開催にあたりまして、永田市長からごあいさつを申し上げます。</p> <p>2 市長あいさつ （永田市長） 皆さま、こんにちは。まだまだ暑い日が続いておりますが、本日はお忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。</p> <p>委員の皆さまにおかれましては、委員就任にあたりまして快くお引き受けいただいたことを感謝申し上げます。</p> <p>また、日頃から、市政の推進にご理解とご協力を賜っておりますことを、改めて御礼申し上げます。</p> <p>現在の第2次総合計画は、平成28年12月に策定したもので、今後のまちづくりの方向性を示す「基本構想」においては、「安心」・「快適」・「魅力」・「連携」を4つの基本理念として定めるとともに、目指すべき将来像として「水と歴史に織りなされた 安心・快適で元気な都市」を掲げています。</p> <p>また、市が実施する施策ごとの目標・方向性を定める「基本計画」については、令和元年12月に後期基本計画を策定しており、これらを行政運営の指針としまして、現在、その実現に向けた取組みを進めているところでございます。</p> <p>そのような第2次総合計画も令和6年度末をもって計画期間の終期を迎えることから、令和7年度からの新たな行政運営の指針として、第3次総合計画の策定が必要となっているところです。</p> <p>前回の第2次総合計画策定から現在に至るおよそ7年間、後期基本計画策定からはおよそ4年が経過するところですが、この間にも、社会情勢は目まぐるしく変化してきました。</p> <p>一番大きな変化は、世界中で感染が拡大した新型コロナウイルス感染症です。社会経済に大きな打撃と影響を与えるとともに、人々のライフスタイルにも大きな変化をもたらしました。</p> <p>また、喫緊の課題として、少子化に端を発する人口減少問題への対応があります。清須市は、平成17年に市制施行し、現在は19年目になります。</p>	

これまでは、比較的子どもも生まれ、転入者もあり、順調に人口が伸びてきていましたが、令和3年9月をピークに少しずつ人口が減少してきています。特に、これは全国的な問題なのですが、出生数の減少に対して、清須市としても、今後、対策を講じていかなければなりません。

そして、近年急速に発達しているIT技術の効果的な活用など、環境の変化に伴って、住民の皆さまの行政に対するニーズも変化してきています。

新たに策定する第3次総合計画は、このような社会情勢の変化や住民の皆さまのニーズを的確にとらえて、これらの課題への対応を含めて、市制運営を力強く進めていくための指針となる内容につくりあげていきたいと考えています。

そのためには、清須市が目指すべき未来について、各分野でご活躍をいただいている委員の皆さまのお力添えをいただきながら、共に考えていくことが大切だと思っています。2年間という長い期間になりますが、委員の皆さまには、それぞれの立場から忌憚のないご意見を賜りますようお願いを申し上げます、冒頭のごあいさつとさせていただきます。

3 委員紹介

(林企画政策課長)

本日は、第1回目の審議会でございますので、会議を進行する審議会の会長がまだ選出されておられません。会長の選出まで、事務局の方で進行をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

なお、委員の皆さまへの委嘱状につきましては、本来おひとりずつお渡しすべきでありますが、時間の都合上、お手元に配付させていただいておりますので、ご容赦ください。

それでは、お手元の名簿に従い、委員のご紹介をさせていただきます。

【名簿の順に委員の紹介】

(林企画政策課長)

なお、本日の会議は、委員17名中16名の出席をいただいておりますので、清須市総合計画審議会設置条例第6条第2項の規定により、会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。

次に事務局の紹介をさせていただきます。

【事務局の紹介】

(林企画政策課長)

なお、本日の審議会には、清須市第3次総合計画策定支援業務の受託業者である、株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所の方にも同席いただいております。

4 会長選出

(林企画政策課長)

それでは、次に、審議会会長の選出に移ります。

清須市総合計画審議会設置条例第4条第2項に、「会長は、委員の互選によってこれを定め、副会長は、委員のうちから会長が選任すること」とされています。どなたか推薦はありませんか。

(後藤(小)委員)

同志社大学の野田教授は行政学が専門と聞いています。野田教授に会長をお願いしたいのですが、皆さまはいかが思いますか。

[異議なしの声]

(林企画政策課長)

委員の皆さまから、異議なしとのお声をいただきましたので、野田委員に審議会会長をお願いしたいと思います。

それでは、野田委員から、ひと言、ごあいさつをお願いします。

5 会長あいさつ

(野田会長)

同志社大学政策学部の教授を務めている野田 遊です。どうぞよろしくお願いたします。

先ほど市長からのごあいさつの中にもありましたが、7年前に総合計画を、4～5年前に後期基本計画をつくりました。特に、後期基本計画策定に関わられている方が数名いらっしゃるので、それとあわせて新しい委員の皆さまにもご協力いただけるということで、私としてはやりやすい雰囲気の中、審議会を進めていくことができそうです。

清須市の人口は、直近で少し減ってきているということです。とはいえ、他地域に比べるとまだまだポテンシャルが非常に恵まれた地域です。大都市の近郊ということもあり、様々な戦略を練ることができる地域なので、委員の皆さまから忌憚のないご意見をいただき、しっかりとした持続可能な計画をつくっていきたいと思います。

6 諮問

(林企画政策課長)

それでは、会長が選出されましたので、ここで市長から審議会への諮問に移ります。永田市長、前の方へよろしくお願いたします。

(永田市長)

清須市総合計画審議会会長 野田 遊 様。清須市の総合的かつ計画的な行政の運営を図るための総合計画の策定について、行政運営の基本的な指針として、長期的な視点に立ち、本市の将来に向けての発展すべき方向と目標を定める観点か

ら、清須市総合計画審議会設置条例 第2条の規定に基づき、調査審議を求め、
よろしく願いいたします。

(林企画政策課長)

なお、委員の皆さまには諮問文の写しを配布します。

それでは、ここからの会議の取り回しは野田会長にお願いします。

7 副会長選任

(野田会長)

はい。ここからは私の方で会議の取り回しをさせていただきたいと思いで、
よろしく願いいたします。

まずは、副会長の選任に移ります。

清須市総合計画審議会設置条例第4条第2項に「副会長は、委員のうちから会
長が選任する」となっていますので、私から指名をさせていただきます。副会長
は水谷委員にお願いしたいと思いますが、委員の皆さまはいかがでしょう。

[異議なしの声]

(野田会長)

ありがとうございます。委員の皆さまより、異議なしとの声をいただきました
ので、副会長には水谷委員にお願いします。

8 清須市総合計画審議会の公開等について

(野田会長)

続いて、清須市総合計画審議会の公開等について、事務局から説明をお願いします。

(岩田企画政策課主査)

本日、事務局の説明を担当いたします、企画部企画政策課 主査の岩田と申しま
す。当審議会の公開等について、事務局案の説明をさせていただきます。

【資料1（右側）を説明】

(野田会長)

ありがとうございました。

それでは、清須市総合計画審議会の公開等につきましては、事務局案のとおり
としてよろしいでしょうか。

[異議なしの声]

(野田会長)

ありがとうございます。それでは、案の了承といたします。

次に、会議録署名委員の指名を行います。本日の会議の会議録署名委員は、座席順に、後藤 小百合委員と水野委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

9 議事(1) 清須市第3次総合計画の策定方針について

(野田会長)

それでは、本日の議事に入ります。

議事(1) 「清須市第3次総合計画の策定方針について」を事務局から説明をお願いします。

(岩田企画政策課主査)

【資料2を説明】

(野田会長)

ありがとうございました。委員の皆さまから、事務局の説明にご意見やご質問等があればお願いします。

策定の方針なので、まだ具体的な計画ではありませんが、例えば、位置付けについては、法律上策定しなければならないわけではありませんが、これからのまちづくりのために策定するということですね。

3ページ、4ページの計画の構成・計画期間については、基本構想、基本計画、実施計画、そのうちの基本構想と基本計画を皆さまにご審議いただくということです。基本構想については、計画書の最初の方の10数ページで人口推計や将来にわたる10年間について、その後に前期計画の5年間の細かな施策についてとなっています。

(水谷副会長)

資料6ページ、2 市民意見の反映についてをお願いします。

私の専門は、市民参加や社会の合意形成についてです。様々な市民の意見を聞いて、いかに施策へ反映するかという研究・実践に携わっています。その観点から、今回の事務局案は、市民アンケートや市民参画会議、また、パブリックコメントを実施することで重層的に市民の声を聞く場が設けられているなと思っています。

ただ、ひとつ気になるのは、一般市民向けには市民アンケート、パブリックコメント、非常に熱心な方には市民参画会議という参加の場があるのですが、普段から自治会などで、主に自治会長や小学校区単位で活動している方々は、普段から住民のことを考えてまちづくりをされています。そのような方々に意見を聞く機会はあるのでしょうか。

(野田会長)

かなり細かく市民の意見を汲み取る方法になっていますが、副会長がおっしゃった、普段から自治会の活動をしている方に意見を聴く機会について、事務局は

何か検討されていますか。

(林企画政策課長)

それぞれの自治会に関わる方々の意見を汲み取る場があるのか、という意見でしたが、現在、清須市では市政推進委員の皆さまに、市を38ブロックに分けて、市と自治会をつなぐ役割として活動していただいています。そのような方の意見の反映については、過去に策定の経過の中でいただいた意見を踏まえて計画を実施したという経緯もありますので、追加で検討してまいりたいと思います。

(水谷副会長)

普段から地元のことに関わられている方から、とても良い意見が聞けるのではと思っています。よろしくお願いします。

(野田会長)

先ほどの話は、次の議題の「策定のながれについて」にも関わってくるのですが、第2回の審議会が来年の2月下旬に予定されており、そこで市民アンケートや市民参画会議の結果報告をしていただくので、そのタイミングにできる限り間に合うようにお願いします。その間、会議がないので、この話については市政推進委員38ブロックの方から意見を汲み取るということで、方法については事務局に一任するというところでよろしいでしょうか。

[異議なしの声]

(野田会長)

では、次回の審議会でご報告をお願いします。
他にご意見やご質問はございますか。

(後藤(隆)委員)

第3次総合計画は将来10年についての計画を策定することなのですが、第1次、第2次の計画において、進捗状況とその結果の振り返りはありますか。

(野田会長)

来年度までは第2次で動いている状態ではありますので、全体についての振り返りは、この後の議題の市民満足度調査で出てくるかと思いますが、そこも含めて事務局より説明をお願いします。

(岩田企画政策課主査)

後ほどの議題での説明と重なる部分がありますが、資料3をご覧くださいよろしいでしょうか。

資料3の左側中央、「～令和6年3月」という囲みがあります。このなかで、市事務局としては、第2次総合計画の検証を事務的に行っていく予定をしております。

す。

ただ、おっしゃった通り、総合計画審議会の中で、それをしっかりとご報告できる場というのは、審議会の議題に盛り込まれていませんでしたので、ご審議いただく上で、そういったところの振り返りや検証を行った結果というものが必要であれば、そちらについても審議会でご報告させていただく場を設けたいと思いますが、いかがでしょうか。

(野田会長)

では、第2回以降に、何か関連する資料お持ちいただくということでお願いします。この場で全体を網羅的に評価するのは難しいと思いますが、これまでどうだったかということがわかるようにお願いします。

他にご意見やご質問はございますか。

(鎌田委員)

基本構想、基本計画、実施計画と順番に流れていくのですが、素晴らしい基本構想や基本計画があっても、実際にそれが実施されないことには立派な計画でも意味がありません。

一般市民を代表して申し上げます。例えば、市役所北館の建設の際に、住民への説明会がありました。その時に、図面には北館に市の職員と市民が交流できるレストランが設定してありましたが、実際にはできませんでした。なくなった理由を聞いたら、レストランを運営する人が見つけられなかったからやめたようです。代わりに様々な自販機を置いてそこを憩いの場として市民の交流の場とする案もあったのですが、この話もなくなっていました。

また、その時の構想の図面では、北館と南館の3階に渡り廊下で連絡通路を付ける予定でしたが、実際にはありません。立派な計画を立てても実際に実施されない意味がないので、一般市民の意見が実施まで達成されるようにお願いします。

(野田会長)

結局は、市民の意見を反映すると言いながらも最終的に反映した成果になっていないのではとのことでした。今回の策定の方針に市民意見を反映した計画づくりとありますので、そのあたりをわきまえていただいて計画づくり、実施、市民への公開を踏まえて進めていただくようお願いします。

それでは、他に意見も無いようですので、第3次総合計画の策定方針につきましては、事務局案のとおりとしてよろしいでしょうか。

[異議なしの声]

(野田会長)

ありがとうございます。それでは、案の了承といたします。
次の議題に移ります。

9 議事(2) 清須市第3次総合計画のながれについて

(野田会長)

議事(2)「清須市第3次総合計画のながれについて」を事務局から説明をお願いします。

(岩田企画政策課主査)

【資料3を説明】

(野田会長)

ありがとうございました。委員の皆さまから、事務局の説明にご意見、ご質問があればお願いします。

今回の第2回の審議会では、基礎調査、満足度調査結果、市民参画会議の結果の調査結果が主になるようです。第3回目で、基本計画の素案が上がってきますので、清須市の主要課題を委員の皆さまで議論いただくという形になると思います。

第3次総合計画の策定のながれにつきましては、このとおりに進めることとしてよろしいでしょうか。

[異議なしの声]

(野田会長)

ありがとうございました。それでは、事務局案を了承することといたします。できる限り皆さまのご意見の時間を取りたいと思いますので、次の議題に移ります。

9 議事(3) 市民満足度調査(第8回)の実施について

議事(4) 市民参画会議の開催について

(野田会長)

では、議事(3)「市民満足度調査(第8回)の実施について」と議事(4)「市民参画会議の開催について」を一括して事務局から説明をお願いします。

(岩田企画政策課主査)

【資料4、資料5を説明】

(野田会長)

ありがとうございました。委員の皆さまから、事務局の説明にご意見、ご質問があればお願いします。

(鎌田委員)

資料4の生活実感の質問において、「あなたは市内の道路網が充実していると思

いますか」に「思う」、「どちらかというと思う」、「どちらとも言えない」という回答欄になっています。

道路網といいますが、清須市には国道も県道もあり市道もあります。国道や県道は管理者が違いますが、清須市の市道に関しては、市の予算で管理運営しています。一般市民が日常でよく使うのは市道ですので、その道路網が良いか悪いかということをもう少し具体的な形で示していただきたいです。

例えば、合併前の昔の町の名残がまだそのまま残っています。西枇杷島町、新川町、清洲町、春日町の町境の道路もバラバラです。町であったときはその町の予算で道路を整備していたのですが、合併して4町がひとつになり清須市になりましたので、町と町のつなぎ目の道路網をスムーズに流れるようにしていただくとありがたいです。

「きよすあしがるバス」の認知度についても、知っているか・知らないかという簡単な選択肢だけでなく、知っているならばバスに対する要望が述べられるような設問をつけ加えるといいと思います。

内容を精査して回答を集めることができると、よりよい基本計画ができるのではと思います。

(野田会長)

ありがとうございます。あしがるバスを例に出された件についてですが、このアンケート調査票の最後に自由記述欄はあるのでしょうか。

(岩田企画政策課主査)

はい。このアンケート調査票の最後の設問として、清須市の施策全般について、ご意見やご提案、普段思っているようなことがあれば記入してくださいという設問を用意していますので、何か普段から清須市に対して思っているようなことはこちらに記載していただけるようになっています。

(野田会長)

このアンケートは、詳細な個々の要望を汲み取るというよりは、大まかな傾向を汲み取ることがメインとなります。鎌田委員がおっしゃられたご意見は、最後の自由記述に書いていただく、もしくは、先ほどの市政推進委員の方々から意見をお伺いすることでカバーできるかと思います。

ちなみに、「きよすあしがるバス」の認知度について、95%以上が知っているのであれば質問の改善の余地があるかと思うのですが、認知度がそれほど高くないのであれば、やはり皆さんが思う以上に知られているわけではないというのが課題としてあがってくる可能性もあるので、そのあたりをふまえてご検討いただければと思います。

また、1つ目のご意見についてですが、道路管理者、国道、県道、市道、農道もあり難しいところでもあります。あまり細かく聞きすぎるとアンケートの回答数や質問数が多くなりすぎて回収率が低くなりますので、ここは全般的に市内の交通体系のイメージでお伺いするということがよいかと思います。ただ、鎌田委員がおっしゃられた道路整備に関する施策はあるのでしょうか。

(岩田企画政策課主査)

調査票のうち、市の施策に関する満足度や重要度を伺う設問中でも、そういった都市整備や道路整備といったものに関連する施策はあります。

(野田会長)

そこはやっぱり道路整備一本にならざるを得ないと思います。施策の数が30ほどでしょうか。

(岩田企画政策課主査)

37施策あります。

(野田会長)

そこを細かくするとこっちも細かくという話になってしまいます。鎌田委員がおっしゃるような内容については、個々のインタビューやヒアリング、市民参画会議で拾い上げていただければと思います。

その他に、ご意見やご質問はございますか。

(山田委員)

市民満足度調査は第8回目になるのですが、今回の調査について、前回の第7回目のものと内容を変えた部分があるのでしょうか。継続的に見ることによってベクトルがどちらに向いているか、市民が興味を持っている分野が何か、あるいはとても満足している分野というのが見えてくると思います。そういったものを見るための調査なので、非常に難しい項目が沢山あると思いますが、できる限りの回収をすることが一番重要だと思います。

(岩田企画政策課主査)

アンケートの調査票の内容は、最終調整している段階ですが、現時点で事務局が考えている内容としては、DXの推進や人口減少に直面している現状ということがございますので、例えば、「市の施策、市の行政運営において、デジタル技術を活用して市民の利便性の向上、行政サービスの質の向上というものができていると感じますか」というようなDXに関連した設問を用意したいと考えています。

また、人口減少に関連して、特に若い世代がどのように考えるかというところで、例えば、「清須市が住みやすいまちだと思うか」や「今後も住み続けたいと思うか」、「若い世代にとって暮らしやすい清須市をつくるために、どういったことに力を入れていくとよいか」といったようなことを聞けるような設問を用意したいと考えています。

(野田会長)

全体の7～8割はこれまでのアンケートと同じと考えてよいですか。

(岩田企画政策課主査)
おっしゃるとおりです。

(山田委員)
回答方法について手直しがされている部分はないと理解してよいですか。

(岩田企画政策課主査)
はい。回答の仕方についてはこれまでと一緒の方法で、回答する項目を増やしているということです。

(山田委員)
聞き方一つで○を打つかどうかという判断は大きく変わると思います。聞き方によって回答が変わるということは当然のごとくあるので、連続したものを統計学的に見るためには同じように進めることが必要だと思います。

(野田会長)
ありがとうございます。その他に、ご意見やご質問はございますか。

(堀田委員)
道路の問題なのですが、私が住んでいる地区で「赤道」でよく揉めており、仲裁に入ることがしばしばありました。昔はみんなで分けあって出した道路が、知らない間に公用の道路になっていることもあります。

水道工事や電気工事をやろうとして業者が説明をしにくるのですが、権利者の誰かひとりでも嫌だと言ったり、気に入らないことがあると工事ができず水道が引けない等のトラブルがあります。そのような問題はここではあまり関係ない話でしょうか。

(野田会長)
申し訳ありませんがここには関係ない話になります。問題としては、非常に重要な話なのですが、アンケート調査で聞き取るような話ではなく、個々に調整、解決していく話になります。

例えば、公共下水道の整備でも、協力料金として10万円払わなければならないとしたら「私は払わない」という人も出てきます。昔は、道路を個人が自治体に寄附するということもあったと思います。知らないうちに公道になっていることもあったかもしれません。こういった話は、かなり具体的な内容になってきますので、事業を行う課に相談をしてもらいイメージかと思います。

(堀田委員)
そのような道のトラブルに仲裁に入り苦労しています。また別の機会でお話させていただきます。

(野田会長)

わかりました。他にご意見等ございますか。

(後藤(悦)委員)

市民満足度調査の対象者が20歳以上となっていますが、市民参画会議は18歳以上となっています。成人年齢は18歳以上ですが、なぜ20歳以上なのでしょう。

(岩田企画政策課主査)

成人の年齢が引き下がったことによって、調査対象を18歳以上にした方がよいのではなかという議論は、事務局の方でもありました。

ですが、対象の年齢を変更しなかった理由として、市民満足度調査を第1回から第7回までやってきて、これまでの回答の経緯、各設問における市民の実感などの推移を数値的に把握するというのが調査の大きな目的ですので、年齢の要件を20歳以上としたまま、変更は行わずに実施することとしたいと考えております。

(野田会長)

これまでの整合性を重視されたということですね。

ただ、今は成人年齢が18歳となり、若い方に清須市に住んでいただきたいということもありますので、市民参画会議でしっかりとご意向をお伺いするようにお願いしたいと思います。

他にご意見やご質問はございますか。

(山田委員)

市民参画会議について、翌年の1月中旬までに実施し、2月に開催する第2回の総合計画審議会では結果報告と記載があるのですが、この市民参画会議の結果が総合計画の中に入ってくると考えてよいのですか。

(岩田企画政策課主査)

第2回の審議会の中では、市民参画会議でテーマごとに話し合った結果について整理をして報告をさせていただきたいと考えています。

(野田会長)

おそらく、先ほどの山田委員の質問は、ここで重点課題等を検討した結果が、今後の基本計画や基本構想にどれぐらいのウエイトで入るのかということだと思います。これはあくまで単なるひとつの意見収集の手段であるのか、または結果を計画の重点課題とするかどうかという趣旨だと思います。

(岩田企画政策課主査)

市民参画会議での意見は市民の実感に基づくものになるので、そこで出た重点課題は非常に重視していかなければならないものと考えておりますが、その意見

だけに特化して計画にそのまま反映していくことは難しいと考えています。やはり、最終的には市民参画会議の中でいただいたご意見等もふまえて、この審議会という場で改めてご審議いただき、決定していくというかたちになってくると考えています。

(野田会長)

要するに、我々の検討の材料になると理解してよいですね。

(岩田企画政策課主査)

おっしゃるとおりです。

(山田委員)

市民参画会議の代表の方が、第2回から審議会の委員として参加されるということですが、その時にこの審議会に出てくる題材を目の当たりにして、自分たちがやってきた参画会議と乖離があるという話になってくると、ご意見をしっかりと出せなくなるかもしれませんので、会議に出ていただける方には、前もってそのことをお話していただき、審議会ですっきりご発言していただけるようお伝えください。

(野田会長)

非常に重要なご意見をありがとうございます。おそらく、委員の皆さまと同じ方向を向いているとは思いますが、万が一違った場合に調整ができるよう、しっかりとご意見をお伺いしながら整合性を図っていきたいと思います。

(水谷副会長)

資料5にある市民参画会議の進め方についてですが、第1回、第2回、第3回、第4回とあり、第4回に「清須市の未来の姿を描いてみよう」とあります。

元々、清須市の総合計画は資料6-2にあります、目指す将来像から始まって、その将来像を達成するために基本計画や施策があるという構造になっていますが、市民参画会議では将来像が後になっており課題をあげて未来を描くとなっています。

総合計画では未来志向で計画をつくっていきますが、市民参画会議は現状の課題、ここ10年の課題と言われており未来志向ではないと感じます。計画をつくるときの整合性についていかが思いますか。

(野田会長)

市民参画会議に参加される方は公募による一般の市民の方々であり、普段思っている、目の前の課題から積み上げていって、学んでいただきながら、情報を共有し合いながら進めて最終的に将来像というイメージがあります。

今回のこの審議会は、それぞれの部門の代表者の方々に来ていただいております、それぞれの立場で高所から見ていただきますので、積み上げ式というよりは、様々な材料を俯瞰的に見ていただくというかたちです。

市民が急にビジョンを描くことは難しいと思いますので、市民にとっては身近なところから入っていただくアプローチをしたほうがよいのではと思います。

(河口企画部長)

野田会長がおっしゃったように、市民参画会議につきましては、市民公募の方々に、日頃思っていること、例えば公園が少ない、商業施設が少ない等の実体験を意見として出していただき、課題とそれを解決するためにどのようにしていけば良いかを議論していただきながら、最終的に未来像を描くイメージをしています。

総合計画は基本構想、基本計画、実施計画があり、基本構想の中に目指すべき姿を位置づけ、この目指すべき姿に向かってつくっていくのが総合計画の考え方です。

ここで議論していただくのは、基本構想と基本計画です。実施計画は、総合計画審議会の中では議論しませんが、ローリングとって毎年予算編成に伴って考えていくものです。

どちらかという、市民参画会議で出た意見を参酌しながら毎年どういった事業展開をしていこうかと考えるという意味も含めて、これを機会に市民の方々の意見を聞いて考えていくということです。必ずしも市民参画会議とこの総合計画審議会が一致するものではありませんが、総合計画を策定していく過程で、まずは市民満足度調査や市民参画会議で様々な意見を聴取していくというような考えでご理解いただければと思っています。

(水谷副会長)

市民参画会議で将来像を描いたうえでの第2回の審議会になるので、もし市民参画会議で素晴らしい将来像が出てきたときにはご紹介いただけたらと思います。そういったものもこちらの審議会でも議論できるというプロセスになっているのですよね。

(野田会長)

そうです。どちらかという、市民参画会議の将来像がこの計画の将来像であるというよりは、市民が検討したものとしてこの審議会にあがってくるということですね。

(水谷副会長)

どうもありがとうございました。

(野田会長)

それでは、市民満足度調査及び市民参画会議につきましては、事務局案のとおり実施することとしてよろしいでしょうか。

[異議なしの声]

(野田会長)

それでは、事務局案を了承することといたします。
では、次の議題に移ります。

9 議題(5) 基本構想骨子の検討について

(野田会長)

議事(5)「基本構想骨子の検討について」を事務局から説明をお願いします。

(岩田企画政策課主査)

【資料6を説明】

(野田会長)

ありがとうございました。委員の皆さまから事務局の説明にご意見、ご質問があればお願いします。

(後藤(小)委員)

事務局から、いくつかの大事にしたいという政策の内容の説明がありました。私は、教育委員の立場として、子どもたちが学ぶ環境をつくっていただけることは本当に大切でありがたく思っています。

現在も、子育て世帯に対して予算をつけて支援していただいております。学校給食費の3か月間無償化、文化活動への支援、不登校に関する子どもたちへの教室も始めていただいております。

これからの未来を担う子どもたちが健やかに育っていく環境を整えていただけるということがこの骨子案の中に盛り込まれており、大変ありがたく思っています。

今までの社会状況とは違ってきていますので、予算を計上していただき、これからは地域で子どもたちを育てていくという考えで、子どもや子育ての世代、若い人たちの世代を温かく支援していただけることを望んでいます。

(野田会長)

特に政策2の「子どもの笑顔あふれるまちをつくる」は安全安心の次にきており、検討いただいたものと思います。ありがとうございます。

他にご意見などある方いらっしゃいますか。

(後藤(鈴)委員)

私は、今回初めて総合計画審議会の際に参加をさせていただきました。

事前に資料を読んできたのである程度、内容を理解して審議会に参加しましたが、非常によくできていると思いました。

先ほどの事務局の説明のなかで、「はぐくみ都市」とありましたが、これはキャッチフレーズ的なものであるだろうと思います。第2次計画は「元気な都市」でした。この「はぐくみ」という言葉は一般的によく使われる言葉でしょうか。何

となく違和感があったのは私だけでしょうか。「はぐくみ都市」とのひと言だけではよく理解できません。内容を説明していただき、このようなことをはぐくみたいということでしたら理解をすることはできますが、キャッチフレーズにすると何となく耳に入りにくい気がします。

(野田会長)

ありふれた言葉を使いすぎると新規性が無いとも言えますので、トレードオフの関係にあると思うのですが、事務局からご説明をお願いします。

(岩田企画政策課主査)

確かに、後藤委員のおっしゃる通りで、「はぐくみ都市」というのは、「はぐくむ」という部分をより伝えたいという思いを込めてつくった造語ですので、一般的によく使われる言葉かと言われると、そうではないかもしれません。

(野田会長)

「ここに来れば、色々なものが育まれていく」というイメージだと思います。キーワードはあまり細かく説明しすぎず、できる限り短い方が良いと思います。例えば、仙台市の「杜の都」はそれだけでブランディングされていますよね。前の「元気な都市」というのも分かりやすいのですが、今回は更に新しさを加えて「はぐくみ都市」というかたちになっているのだと思います。他の委員の皆さまはいかがでしょう。

(後藤(小)委員)

「はぐくみ都市」の説明も書いてありますが、みんなで育て合い、学びながら育てることが育むということだと思います。「はぐくむ」は温かみのある言葉で、教育委員の立場である私には、すんなり入ってきますが、色々な立場の方がいるので、様々な意見があるとは思いますが。

(野田委員)

そうですね。もっと言うと、人だけでなく思いも育てていくということです。

(渡辺委員)

私は、これまでの「連携」から変わって、「はぐくみ」という言葉は、大変良い言葉だと思います。

私たち、障害の分野でも育成会という言葉を使っており、みんなで育てていくという思いがあるので、とても良い言葉だと思います。

(野田会長)

ちょっと疑問が出て、あまり聞いたことがないというぐらいの方が、ありきたりではなく良いのではないのでしょうか。

若い方のご意見も聞いてみたいと思いますので、伊藤委員や原委員から、ご意見があればお願いします。

(伊藤委員)

「はぐくみ」という言葉は温かい言葉だと思いますし、人口減少が問題になっている中で、子どもは大事な宝物だと思います。第2次計画の「元気な都市」よりも、これからの未来を担う子どもたちのことが考えられている印象があり、非常に良い将来像だと思います。

(原委員)

私も、「はぐくみ」という言葉は良い言葉だと思います。「はぐくむ」という言葉は、子育ての分野でよく聞く言葉だと思いますが、地域全体で子どもたちに愛情をもって育てるというイメージがあり、温かくて愛がある言葉だと思います。

(野田会長)

ありがとうございます。委員の皆さまが肯定されていく中で否定しにくいかもしれませんが、「はぐくむ」という言葉に違和感があるという意見も当然あって良い意見だと思います。

「はぐくむ」は、子どもはもちろんのこと、すべての人やつながりを「はぐくむ」としていくというところが、大都市ではできない、清須市らしさになると良いか思います。

後藤委員から疑問を出していただいたことで、この将来像の議論がとても深まったと感じます。ありがとうございます。

(堀田委員)

「はぐくむ」というのは、私たちの世代では忘れていた言葉かもしれませんね。久しぶりに聞きました。

(後藤(鈴)委員)

そうですね。良い言葉だというのは理解ができるのですが、普段フレーズとしてあまり使わないと思いましたので。

(野田会長)

今までの「連携」は、連携している状態や現象を指している印象でしたが、過程も含めて育んでいるという一步踏み込んだ感じになっているかと思います。このかたちで進めさせていただいてよろしいでしょうか。また何かご意見があればご意見をいただければと思います。

他にどなたかご意見はございますでしょうか。

(後藤(隆)委員)

資料6-1 清須市の基本理念に「安心」、「快適」、「魅力」、「はぐくみ」とありますが、これに優先順位があるのでしょうか。

(岩田企画政策課主査)

事務局としては、この4つはすべて平等に大切なもので順番を決められるよう

なものではないと考えています。どうしても資料上に落とし込んだり、言葉で話す順番ができてしまうので気になってしまうかもしれませんが、イメージとしては、この4つが円状に、それぞれが平等にあるようなイメージで考えています。

(野田会長)

安心、快適が上にきているので、安心が最も強いとは言い切れずにはしても、比較的先にイメージするものということです。安心がいちばん上だから予算配分を多くなるということはありませんが、印象としてそのようなことも解釈されるかと思います。

最後のはぐくみに関しては、最後なので優先順位が低いということではなく、横串というイメージでしたが事務局としてはどのように考えていますか。

(岩田企画政策課主査)

そうですね。おっしゃる通りで、当然、各分野にわたって言える部分というのははぐくみといったところですので、その横串というような解釈ができると思います。

(野田会長)

中身を見てみると、結果的に横串になっていると思うので、そのあたりをまたご確認をお願いします。

(水谷副会長)

今の意見はとても大事だと思います。「はぐくみ都市」ということを謳って、これだけ「はぐくむ」ということを大事にされていて、もしこの4つの理念の優先順位が現在、事務局側として特になければ、「はぐくみ」を2番目に持ってきてはどうでしょうか。そうすると、いちばん大切にしたいところや施策との整合性も図りやすいのではないかと思います。清須市は「はぐくむ」ということを大事にしている都市だということが伝わってくるのではと思いますが、どうでしょうか。

(野田会長)

ただ、この中身を見ると、子どもだけを育むわけではありません。広域連携なども全部入ってくるので、これが2番目にくると違和感があるかもしれません。実際には、今後、基本計画を考えていく過程でより明らかになってくるのですが、今、後藤 隆之委員が疑問視された点も重要なところです。資料6-3の上から2番目は、福祉や子育て支援という意味も含めて上に位置付けているはずですが、やはり、「はぐくみ」は子ども以外にも様々なものを育むといった思いのある言葉として使っていますので、横串というかたちで最後に書いた方が、収まりが良いかなという気はしますが、どうでしょうか。

第2次総合計画でも、「元気な都市」はフレーズにはなっていませんでした。今回は、「はぐくみ都市」というダブルクォーテーションで強調していますので、

清須市と言えば「はぐくみ都市」と言われるくらいになっていれば大成功です。そういったことも踏まえて、ご意見等ございましたらお願いします。

(堀田委員)

商工会の会長としての意見ですが、政策5「魅力に満ちた活力のあるまちをつくる」の2行目に「…また、食品や電気器具などの製造業の拠点として発展してきた清須市においては…」とありますが、食品とは何を指すのですか。

また、電気器具の製造業の拠点とはどこでしょうか。商工会の会長として思い浮かばないので、教えていただきたいです。

(林企画政策課長)

食品とは、キリンビール株式会社名古屋工場がありますのでそのように表現をしたものだと考えております。電気器具については、第2次計画の文章表現をそのまま引用しましたので、今後、この表記につきましては、再度検討させていただきます。

(野田会長)

そうですね。一度持ち帰っていただいて、記載の検討をお願いします。

(永田市長)

電気器具は、今は市内には無くなってしまったのですが、パナソニック株式会社のことだと思います。今は、三菱重工サーマルシステムズ株式会社枇杷島製作所のエアコンの大きな工場があります。また、食品はキリンビール株式会社名古屋工場やナカモ株式会社もあるので、そういったところから第2次計画では表記をしたのだと思います。

(堀田委員)

わかりました。食品は太陽ソースの太陽食品工業株式会社も頑張っています。

今は電気器具の工場が思いつかなくて、清須市で電気器具の拠点はどこにあるのかと聞かれたら商工会会長として回答ができないと思ったので質問させていただきました。

(鎌田委員)

「はぐくむ」という言葉なのですが、良いか悪いかで言えば100%良いに決まっています。市の封筒や広報に「はぐくむ」という表記を入れていけば市民も言葉に馴染んできますし、そうすると清須市の宣伝にもなります。この総合計画における将来像だけの問題ではなく、印刷物等に清須市の上に「はぐくむ」と付けて配布していけば、2～3年経つと近隣の市町村にもなじんで、清須市といえは「はぐくみ都市」だなどというように浸透していくのではと思います。

(野田会長)

ありがとうございます。今後の方法論として非常に強力なやり方だと思いま

す。

今、お伺いしている内容は基本構想ですので、今後10年の話になっていきます。これを具体的に冊子にしていくこととなりますので、委員の皆さまよりいただいた意見を踏まえつつ、なおかつ、今度は市民参画会議やアンケート結果も踏まえながら、基本計画に第3回以降に反映されていくということとなりますので、また引き続きご議論いただければと思います。

それでは、この基本構想の骨子については事務局案の通りで進めさせていただきますが、委員の皆さまはよろしいでしょうか。

〔異議なしの声〕

(野田会長)

ありがとうございます。それでは、事務局案を了承することといたします。

本日予定していた議事はすべて終了しました。もし最後に、本日の会議全体を通じてのご意見・ご質問等がありましたらお伺いしたいと思いますがいかがでしょうか。

ご意見もないようなので、議事を終了とします。

10 閉会

(野田会長)

では、以上をもちまして、第1回清須市総合計画審議会を終了したいと思います。どうもありがとうございました。

ここからは進行を事務局にお返ししたいと思います。事務連絡などありましたらお願いします。

(林企画政策課長)

皆さま、どうもありがとうございました。第2回の審議会は来年の2月下旬頃を予定しています。詳細は改めてお知らせをさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

本日は、長時間にわたりご審議を賜りありがとうございました。

問い合わせ先	企画部企画政策課 052-400-2911 (内線3251)
--------	-----------------------------------

会議の経過を記載して、内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

署名委員 後藤小百合

署名委員 水野格彦